

愛鷹山生物群集保護林

群集-11

管轄森林管理局・署	関東森林管理局 静岡森林管理署
所在地	静岡県駿東郡長泉町、沼津市、裾野市
面積	570.17 ha
設定年	1991(H3)年
保護林の概要 (設定目的)	当該地域の代表的な群落であるヒメシャラの混在したブナ林や、太平洋側気候域に残された原生的なスギ林、アシタカツツジの生育する低木林などを主体とする地域固有の生物群集を有する森林を保護・管理することにより、森林生態系からなる自然環境の維持、野生生物の保護、遺伝資源の保護、森林施業・管理技術の発展、学術の研究等に資するため設定した。



尾根上の落葉広葉樹林(2019.11.06撮影)



アシタカツツジ群落(2019.11.06撮影)

モニタリング調査概要

実施年度	2009年、2014年、2019年
調査項目	樹木の生育状況調査、林床植生の生育状況調査、動物調査等
調査手法	森林詳細調査として、スギ群落と、アシタカツツジを含む群落において調査プロットを2箇所設定し、樹木の胸高直径、樹高の計測及び植生の種組成の概要を把握。動物調査として、調査プロットまでの経路に1つ調査ルート設定し、保護林内における出現種を把握。森林生態系多様性基礎調査の結果も活用。
結果概要	ニホンジカの痕跡が複数確認されており、プロット内のスギ群落の低木層、草本層に、ニホンジカの採食圧による植被率の低下が見られる。上層木を構成するブナ、ミズナラ、スギ等は健全に生育しているが、稚樹・実生の個体数が少なく、ニホンジカによる採食圧により、今後下層植生に変化が生じる可能性がある。今後の植生変化に注視する必要がある。

※モニタリング調査の詳細情報については、森林管理局にお問い合わせください。